

## 雑 報

## 編集後記

### ○編集幹事会

日時 平成8年11月11日(月)午後4時より

場所 B会議室

議題 東京女子医科大学雑誌67巻1・2号査読結果  
審議, その他

### ○集会幹事会

日時 平成8年10月22日(火)午後4時より

場所 中央校舎1階会議室

議題 第308回, 第309回, 第310回例会, その他につ  
いて

日時 平成8年11月26日(火)午後4時より

場所 中央校舎1階会議室

議題 第308回, 第309回, 第310回例会, 第311回例  
会, 第63回総会, その他について

### ○第308回例会

日時 平成8年11月21日(木)午後4時より

場所 臨床講堂II

シンポジウム

「免疫学の進歩—基礎と臨床—」

最近歩きながら、店内で何かを物色しながら、あるいは通勤電車の中でさえ、飲み食いをする若い人を見かける。見た目も悪く決して愉快とは思わないが、空き缶やパンくずを食い散らかさない限り、特別に非難をする理由が思いあたらない。こういう光景には海外ではよく遭遇することだが、最近まで日本ではほとんど見なかった。かつては立ち食いを戒める何か儒教的な理由でもあったのかも知れないが、私は知らない。

生活の習慣や常識は時代や場所に変化をするもので、一昔前の自分の感覚にこだわってよいものか、疑問を感じることもある。子供の頃茶碗にご飯つぶを残すと、「お百姓さんが汗水たらして作ったもので、目がつぶれる」と言われた。祖父などは小皿に注ぎすぎた醤油まで湯で割って飲んでいたが、テレビに登場する農業の青年は高級自家用車を乗り回して、スナックでカラオケパーティーをする、およそ貧農のイメージはない。それに今の時代、よそわれたご飯を残さず食べて、醤油なんか飲んでいただけにはそれこそ糖尿病と高血圧で目がつぶれてしまう。

ことは日常生活ばかりではない、論文もずいぶんと様変りをした。私が初めて論文を書いた時には、先輩から陰性結果ばかりの無用な表は作ってはいけない、折線グラフは線の種類でデータを区別してはいけない、などという注意を受けた。その主旨は論文の内容を簡潔かつ誤解のないようにするものであるが、その他に当時雑誌に図表を掲載することは、大変な労力とお金がかかるということも大きな理由であった。しかし、最近ではコンピューターが発達して、少なくともお金がかかるという理由はあまりなさそうだし、労力にいたっては逆に数値さえ打ち込めばコンピューターが勝手に図表を作ってくれる。そのせいか、やたらに凝った図表やら、あまり意味のなさそうな立体的な表現まで登場する。見慣れないせいか、これも愉快とは思わないが、かといっていけないという正当な理由も思い浮かばない。

時代の変遷とともに過去の常識がなくなるだけだと寂しいが、今の時代に即したルールができてくるのだろう。

(1996. 11. 14, 土坂寿行)